

# 防災に取り組む！

## 避難訓練は学年で！

感染拡大に伴い、全体での避難訓練を、学年ごとの避難訓練に変えました。

それぞれの学年で、避難経路を確認して避難する練習をしました。今は、制限が多いですが、できることを一つずつしていきます。

## 阪神大震災から…

4年生では、総合的な学習の一環として「命」を大切に、のテーマのもと学習を進めています。今回は、防災に関連して、阪神大震災の話をもとに、あらためて「命」の尊さについて学びました。



はじめに体験談を聞いた子ども達。実際に、自分達の町がこのような災害になったらどのように感じるか、自分のこととして考えました。





当たり前前の光景が一瞬にして奪われていく…。そんな事実を目の当たりにして、少し動揺する子ども達もいましたが、真剣な眼差しで話を受け止める子ども達。



災害に備えて、自分の命を守ること、そして家族や友達を大切にすることを学び、学習を終えました。



学習を終えた子ども達にアンケートをすると、以下のようなこたえが返ってきました。



- ・ 自分の命を大切にしようと思いましたそして助け合うことが大切だということがわかりました。
- ・ いつじしんがあるか、わかりません。だから、もし地震にそなえて、出来る事があつたらしようと思いました。
- ・ 普通の暮らしとは違い、考えのつかないことが起きてしまうということは怖いことだけど、いつ何が起きてもたいようできるように備えていきたいです。
- ・ 今日習った地震に自分がいたときどんな気持ちになるか考えられたのでよかったです!ありがとうございました!
- ・ ”人”という漢字は、人と人で支えあっているという意味が初めて理解できました。友達が災害は怖い、災害は苦しいと言った意味が分かりました。
- ・ 先生の話聞いて、災害は、いろいろな人の命を奪うからそれに備えて考えることが大切ってことを先生が教えてくれたのでとても勉強になりました。
- ・ 今日の学習で、地震にあつたことがないけれど、地震がどれだけ大変なのか分かつたので、避難所や防災グッズを用意しようとおもいました。ありがとうございました。

- ・「災害の中でも、助けてくれる人がいて、もしも、自分がその場にいたら本当に、感謝している」と今日、この学習で、学びました。
- ・今日の学習を通してこれからも友達や家族、「ありがとう」などの言葉を大切にしていきたいです。もしも自分があの場所にいたら恐怖で動けないだろうし、自分が避難できたとしても友達とかはちゃんと避難できたのか心配でたまらないと思います。この地震を経験した人たちはそんな思いで避難所で過ごしていたから、友達や家族と再会出来た時不安な気持ちなどが少しずつ消えていくのかな。と思いました。この学習のおかげで地震を経験した人の気持ち、人と人、心と心のつながりの大切さを知りました。本当にありがとうございます。
- ・人と人とのつながりがあると、悲しい心が無くなるということが分かりました。

## 今、この一瞬にありがとう！

持久走大会の中止。本校でも、行事の見直しや中止を余儀なくされています。コロナ禍にあって、様々な制限がある今だからこそ、私たちは、原点に戻るチャンスなのかもしれません。

先ほどの子ども達の感想にもありましたが、「つなぐ」思いを大切に、感謝の気持ちをもちながら日々過ごしていきたいと思います。

保護者の皆様、状況は刻一刻と変わることが予想されますが、子ども達の気持ちを大切に、今週も過ごしていきたいと思います。どうぞご理解をいただきますよう、お願い申し上げます。

